

道政だより

vol.6

わたなべ靖司政務調査室

〒065-0024 札幌市東区北24条東9丁目1-31 しみきまビル1階
TEL.011-750-1717 FAX.011-722-6677
<https://watanabe-yasuji.jp/>



北海道議会議員(札幌市東区)

わたなべ 靖司

ごあいさつ

全国で急拡大した新型コロナウイルスの第6波は、札幌の社会・経済にもさまざまな影響を与えました。新たな感染の波に備えて、医療提供体制のさらなる強化や3回目のワクチン接種をはじめとした対策と同時に、アフターコロナを見据えた取り組みが求められます。

道議会第1回定例会では、これらの課題に対応する道の令和4年度当初予算案を審議します。この中には、脱炭素社会とアフターコロナを見据え、私が特に力を入れている「森林づくり」に関する施策が盛り込まれています。活力ある森林づくりによるCO₂吸収量の確保は、本道の成長にとって重要な「ゼロカーボン北海道」実現の鍵となります。

また、東区では、昨年6月に起きた市街地へのヒゲマの出没、この冬の大雪による交通障害や除雪の問題など、市民生活にかかわる地域課題が山積しています。これらの課題解決にも、引き続き全力で取り組んでまいります。

北海道経済を再び活性化し、北海道が日本の成長のけん引役となるため、私もたゆまぬ努力を続けてまいります。引き続き、皆さまのご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道議会議員 渡邊 靖司

地域課題の解決へ 道の取り組み強化促す

本道の多岐にわたる重要課題について、道議会の本会議や委員会で質問に立ち、道の取り組みをたどりました。

令和3年第4回定例会(令和3年12月7日)

一般質問【要約版】

●児童相談体制の強化について

わたなべ 令和2年度の全国の児童相談所における児童虐待対応件数は初めて20万件を超え、道においても6200件を超える非常に高い水準で推移している。国の児童相談所体制強化プランが前倒しされたことに伴う、道における児童福祉司等の人材確保の見通しはどのようになっているのか。また、対応が困難なケースに対処できる人材育成にはどう取り組んできたのか。市町村の相談体制強化を含め、今後どのように進めていくのか。

鈴木知事 道は人材確保の取り組みを進めており、令和3年度末に前倒しとなった国のプランに基づく増員目標を達成できる見込み。児童福祉の現場経験者を採用し、スーパーバイズ機能を強化するとともに、より実践的な研修カリキュラムの導入やオンライン環境の整備など職員の専門性の向上にも取り組んできた。今後とも、児童相談所の体制強化等を図るとともに、市町村支援を担当する児童福祉司が地域に出向き、児童相談所を中心とする地域の見守り体制の充実・強化を推進してまいります。



<その他の質問>

- 漁港の整備について
- 森林づくりの推進について
- 道産食品の取引機会の確保について
- 雇用対策について
- アイヌ文化の振興について
- 空き家対策について

総務委員会(令和4年2月24日)

●雪害対応について

わたなべ 2月6日の札幌圏の大雪は、生活道路の渋滞やJRの運休、中でも札幌―新千歳空港を結ぶ千歳線が長期にわたり全面運休となるなど、道民の社会経済活動に深刻な影響を与えた。道は今回の雪害と交通障害に関する検証を行うとしているが、今後どのように対応する考えか。

危機管理監 道として、大規模災害時に地域全体で対応できるよう、国や札幌市、関係機関

と連携して今回の大雪で明らかになった影響や課題を幅広く抽出し、検討課題を整理して対応策について検討する。これを早期に取りまとめ、大雪被害の最小化を図るべく雪害対策を充実強化してまいります。

わたなべ さらに2月21日にも雪害により3日間、JRが運休する事態となった。来シーズンも札幌圏で同様の大雪が高い確率で発生することが予想される。その際に混乱が起きないように、雪害対応検証チームの協議に期待したい。

総務委員会(令和4年1月12日)

- 国の日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による被害想定公表について
- 土地信託事業について



わたなべ靖司の プロフィール

●昭和31年3月5日生まれ、A型 ●札幌市立北園小学校、明園中学校、札幌光星高校卒業、東海大学(中退) ●株式会社 丸信ワタナベ代表取締役
【北海道議会】議会運営委員、総務常任委員会理事、北方領土対策特別委員会理事【自民党道連】組織委員会副委員長、総務会常任総務、政務調査会委員、選挙対策副委員長【資格】宅地建物取引士、大型2種自動車免許【公職経歴】札幌青年会議所 副理事長 ●日本青年会議所 北海道地区協議会 運営専務 ●北海道私立幼稚園PTA連合会 会長 ●北園小学校PTA会長 ●東区PTA連合会 副会長 ●北海道神宮第28北栄祭典区 代表委員長 ●札幌市東消防団 北栄分団 分団長【現職】 ●東区北栄連合町内会 顧問 ●北栄東町内会 副会長 ●札幌村郷土記念館保存会 相談役 ●札幌市東区少年軟式野球連盟 顧問 ●日本犬ぞり連盟 特別顧問

この1年間のハイライト

地元の悲願実現!東雁来12条2丁目に信号機設置



令和3年2月26日、東区東雁来12条2丁目に手押し信号が新設。地元の皆さんと継続してきた要望活動が実り、札幌緑小の子ども達も大喜び。

農作物の干ばつ被害を調査



令和3年夏の記録的な暑さによる干ばつ被害の調査を札幌や石狩、道央地域で実施しました。

予算特別委員会の分科会委員長として予算審査をリード

森林づくりなど道政の重要課題をたず

豊かで活力ある森林づくりは、気候変動対策だけでなく、アフターコロナを見据えた北海道の成長にとっても重要です。私、わたなべ靖司は、昨年12月に開かれた道議会第4回定例会(4定)の予算特別委員会で第2分科会委員長を務めるとともに、「ゼロカーボン北海道」実現の鍵となる森林づくりについて一般質問でもいただきました。



道議会第4回定例会

一般質問で温室効果ガスの森林吸収源対策をたず

わたなべ 令和3年10月に閣議決定された国の「地球温暖化対策計画」において、「緑化など温室効果ガス吸収源対策等に取り組む」ことが事業者に求められる基本的な役割とされ、今後は企業と連携した森林吸収源対策の重要性が増すと考えられる。また、「北海道森林づくり基本計画素案」では、「木育マスターや企業などによる木育活動の推進」が重点的な取り組みに位置づけられている。

森林吸収量を最大限確保するには、市町村や森林組合、林業・木材産業関係者と連携し、成長

の早い苗木の導入や植林の低コスト化などを進め、企業などにも取り組みの輪を広げる必要がある。道は今後、どのように取り組む考えなのか。

水産林務部長 道として、ICTを活用した植林作業の省力化や、市町村と協調して森林所有者の植林費用の負担軽減を図るとともに、道総研・林業試験場や関係企業と連携し、二酸化炭素の吸収能力に優れたクリーンラーチの供給力向上などに取り組む。また、環境保全や二酸化炭素の排出削減に取り組む企業と連携した森林づくりや森林を活用したワーケーションを進めており、今

後、ホームページやSNSを活用して広くPRするほか、木育マスターの協力を得ながら森林所有者と企業とのマッチングを進め、森林吸収源対策に積極的に取り組む。



取り組みがカタチに!

道の令和4年度当初予算案に「森林づくり」関連施策 一般会計の総額3兆2262億円 過去5番目の規模に

森林づくり関連項目

・林業・木材産業の競争力強化	20億4900万円	・豊かな森づくりの推進	6億8200万円
・林業・木材産業の体制整備	19億270万円	・森林整備の推進	159億4100万円
・クリーンラーチの幼苗安定確保と供給拡大	1060万円	・道産木材「HOKKAIDO WOOD」の利用促進に向けた取り組み推進	7700万円
・企業と連携した森林づくりの推進	1000万円		

コロナ対策の「守りの視点」、コロナ後を見据えた「攻めの視点」を重視

「守り」の視点

■新型コロナ対策

・自宅療養者支援に向けた保健所体制の強化	204億7600万円
・ワクチンの3回目接種などの円滑な推進	148億1400万円
・PCR検査体制強化と感染拡大時の検査無料化	163億9600万円
・感染防止対策に協力した事業者への支援	193億6300万円

「攻め」の視点

■経済再生と地域産業の活性化

・中小企業の資金調達の円滑化(低利融資やポストコロナに向けた取り組みへの貸付支援)	3324億600万円
---	------------

■脱炭素社会に向けて(「ゼロカーボン北海道」の実現)

・市町村や企業などが連携した再生可能エネルギーや新エネルギー導入支援	3億5500万円
------------------------------------	----------